

栲原こども園だより

わくわく運動会

10月4日(土)は、お天気にも恵まれ、グラウンドで『栲原こども園第4回わくわく運動会』を行うことが出来ました。1歳児から5歳児までの計101名とたくさんのお家の方、地域の皆さんと一緒に半日を過ごしました。

運動会は、『のびのびと体を動かし、親子で楽しく過ごす』というねらいのもとに進めてきました。こども園では、普段から運動遊びを取り入れ、子どもたちの今の育ちに合わせた競技内容にしました。

乳児組は、ハイハイやバランスを取って歩いたり、よじ登る、両足で飛んだりするなど、1歳児2歳児の成長に合わせて、親子でも取り組めるふれあい運動にしました。幼児組は、3歳児がポツクリに、4歳児は一本下駄、5歳児は竹馬にそれぞれのクラスが運動会に向けて遊びの中で挑戦してきたこと



を競技に取り入れました。

小さいうちから体をしっかり動かすことはとても大切なことです。体を動かす心地よさを味わうことで運動が好きになり、大きくなつてからの色々な病気の予防にも役立ちます。楽しみながらバランス感覚や平衡感覚を身に付け、必要な筋肉をしっかりと付けながら柔軟な体を作り、心と体も共に健康に育ってほしいですね。

地域の皆様、参加・応援・ご協力、ありがとうございました。

お茶席

10月7日(火)は、栲原お茶クラブの方たちにお越しいただき、お茶指導をしていただきました。まだ小さな子どもたちですが、お茶席の雰囲気を感じ取り、正座をしてお抹茶をいただき、おいしいおまんじゅうに舌鼓を打ちました。お茶席で着物姿を見ることが、子どもたちには新鮮です。

「お先に」「どうぞ」の譲り合いの精神や「頂戴いたします」など、声を出して丁寧に一つ一つの所作を身に付けながら、『礼に始まり礼に終わる』というお茶席のお作法を体で感じ取ることが、子どもたちは普段には味わうことのできないもので、私たち職員も所作の一

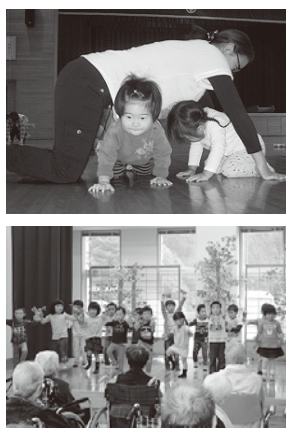
つ一つを身に付けることの難しさと共に、お作法を学ぶことに喜びを感じています。



乳児組親子学習会

10月18日(土)に、乳児組の親子学習会が、体育館で行われました。栲原出身の岡田万葉実先生(龍馬学園)を講師に迎え、『親子でふれあい楽しく体を動かす』をねらいに、午前中1時間を過ごしました。体操をしたり体を動かして色々な運動をしたりと、親子で楽しめました。笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。跳び箱を登って飛んだり、やわらかいスポンジの一本橋を歩いたり、トンネルをくぐったり、ボールを投げ入れたり、小さな子にも楽しい無理のない内容で、時間いっぱい楽しめました。この学習会を通して、親子でふれあうことの楽しさを改めて感じる事ができたのではないかと思います。

幼児組も各クラス学習会があり、子どもたちも保護者の方も学び楽しめる内容になりました。今年度は、10月で各クラスの学習会は終了しましたが、来年度も保護者と協力しながら進めていきたいと思っています。



ふじの家訪問

10月21日(火)年中組が、ふじの家を訪問してきました。おじいちゃんおばあちゃんとのふれあいが少ない子にとっては、いたわりの気持ちをもつて接することが体験できたり、施設の中を見学したりすることが、よい経験となっています。また、保護者や知り合いの方が働いていたりすることで、いろんな仕事があることも知ることができました。子どもたちは、歌や踊りを披露し、ふれあいをもちながら楽しい時間を過ごしていただきました。温かく出迎えていただき、ありがとうございました。